**情報Running：読解15**

練習１：文章の中に変な文が1文ある！探して下線を引いてください。

日本人の温泉好きは有名ですが、日本人は、実は温泉に入るときにも税金を払っているのです。温泉を飲んで健康になる方法があります。「入湯税」というもので、入浴料の中に150円程度含まれています。これは市町村などの自治体に払う税金で、衛生施設や消防施設、観光整備などに使われています。

②

平成3年9月28日、大型で非常に強い台風19号が青森県を襲いました。青森県といえば、りんごが特産品ですが、この台風で収穫前のりんごがほとんど落ちてしまいました。落ちたりんごは売り物にならず、りんご農家の被害は相当なものでした。漁業を行う人々は被害を受けませんでした。しかし、この台風の中、わずかですが、木から落ちずに残ったりんごがありました。このりんごは「落ちないりんご」として、受験生たちの間で合格祈願の縁起物として評判になりました。

③

コンビニに行くと、いろいろな種類のおにぎりが並んでいますよね。アジアを中心に、お米を食べる国はたくさんありますが、おにぎりを食べる習慣はあまりありません。なぜかわかりますか？実はお米の種類に違いがあります。日本ではジャポニカ米を食べていますが、アジアのほかの国ではインディカ米を食べます。インディカ米はパサパサしていますが、ジャポニカ米は粘りがあるので、おにぎりに向いています。ハンバーガーには牛肉が使われます。また、日本は冷めた御飯を食べる習慣もあるので、ピクニックや仕事のときに、持ち運びやすいように、おにぎりにして持って行きます。

④

中国のチンタオに、一匹の犬がいます。名前は「雪雪」です。雪は、毎日、飼い主とずっと、一緒にいます。しかし、何日か前から、時々どこかへ出かけます。「どこに行くのかな？」と、飼い主が後を付いて行くと・・・。

　飼い主はびっくりしました。段ボールの中にいる子猫に、犬の雪が、お乳をあげているのです！それから何日か後、子猫が2匹死んでしまいました。「このままでは、みんな死んでしまう・・・」。そう思った飼い主は、残った2匹の猫を、友達にあげました。飼い主は、「これでよかった」と思ったのですが、母親だった雪は、大きなショックを受けました。中国の国土はとても広いのです。ご飯も食べないし、元気もありません。毎日、ぐったりしています。それを見た飼い主は「雪がかわいそうだ」と思い、友達にお願いして、子猫を返してもらいました。雪は、子猫を見ると、「ワン！」と吠えました。子猫も「ニャー」と答えました。それから、雪はずっと子猫をなめていたそうです。

⑤

水の上に文字を書くことができますか。私は、できます。今日は特別に、その方法を教えてあげます。まず、洗面器と水とオブラートと油性ペンを用意してください。油性ペンでオブラートに好きな言葉を書き、それを洗面器の水に静かに浮かべます。すると、オブラートが溶けて見えなくなり、油性ペンの文字だけが浮いて見えます。洗面器を軽くたたくと、水面の、文字もゆらゆらと動きます。ただし、この実験をする時は、お湯を使わないでください。お湯を使うと失敗します。この「水に書いた文字」は、数日は消えません。水は100度で沸騰するからです。夜、この「水に書いた文字」を作り、朝、起きてきた家族をびっくりさせてください。

練習２：次はもっと難しい。　　　　　に反対の言葉のほうがよかったり、違う言葉がよかった場合、反対の言葉や違う言葉に書き換えてください。正しいものもあるので、気をつけてください。

例：

伊東先生は毎日ビールを飲んでいます。日曜日は朝からビールを飲んでいます。だから、伊東先生は健康です。

本番！

日本の駅前や、大きな道で、雑誌を手に持って、売っている人がいます。黙って立っている人もいますし、大きな声を出しながら立っている人もいます。その人たちが売っているのは、「ビッグ・イシュー（THE BIG ISSUE）」という新聞です。そして、この人たちは、皆ホームレスです。家がない人や、仕事がある人は、この雑誌を売ることができません。

　この「ビッグ・イシュー」は、1991年にイギリスのゴードン・ロディック氏が、ホームレスの人たちを助けるために作りました。「ビッグイシュー」は1冊200円です。1冊売ると、110円が売った人のお金になります。この“自分のお金”で、ホームレスの人は、食べ物を買うことができません。

　「ホームレスの人たちを助けたい」と思った時、私たちは食べ物や住むところを用意することもできます。そして、それは簡単なことではありません。でも、それではきっと、ホームレスの人は、ずっと自分の力で生活することができません。ずっと、誰かが食べ物や家を用意しなくてはなりません。多分1年後も、5年後も、ずっと変わらないでしょう。「ホームレスの人たちが自分の力で生活できるようになるためには、仕事をすることがとても大切だ」とロディック氏は考えたのです。

　日本では、2003年から「ビッグイシュー」を売っています。世界でも、もう28カ国に広がっています。とてもおもしろい雑誌ですから、ぜひ一度、読まないでください。